

こだわりの桜色ネクタイ

新型コロナのために昨年は中止された対面式でしたが、今年は中学・高校とも4月17日(土)の4時間目に実施することができました。

中学は講堂、高校は遺愛アリーナでした。高校は密になることをさけるため、新入生だけアリーナに入場し、高校生2・3年生はリモートで教室から参加しました。いつものように校長挨拶、生徒会挨拶、新入生代表挨拶、新入生への花束贈呈、吹奏楽局による歓迎の演奏、部活動紹介がありました。

私は、歓迎の意をあらわすために1年に1度この対面式のためにだけする桜色(ピンク)のネクタイを、2年ぶりにして挨拶をしました。遺愛の前庭には桜の木がたくさん植えられていて、ちょうど対面式の頃に大きな蕾みになるので、桜の美しい開花と遺愛生のこれからの豊かな可能性の開花を祈って、桜色(ピンク)のネクタイを締めています。

生徒会の顧問の先生から、「挨拶は3分間厳守」でお願いしますと言われ、「3分間」を強く意識しながら挨拶をしました。今回は、水泳の池江璃花子さんのお母さんが、璃花子さんが小さいときから「あなたにはできる」とささやき続けて育ててきたのが、病の回復と競技生活の復活につながったこととお話し、皆さんも毎朝、自分に向かって「あなたはできる」と語りかけてみませんか、とお勧めしました。間違いなく自己肯定感が高まり内から力がわいてきます。先輩たちの部活動紹介を楽しそうに見ていたのので、新1年生の入部率は高そうです。

2021年4月20日(火)



花束贈呈



吹奏楽局演奏



チアリーダー部



新体操部



弓道部